

1 はじめに

円山地区では、私たち自身が地区を見つめ直し、みんなで話し合いをしながら地域づくりをしていこうと、平成22年に地区内の自治会、各種団体を構成員として「円山地区まちづくり協議会」を設立しました。平成23年には、地区のシンボルマークやキャッチコピーが公募により決定し、住民一人ひとりが主役となるまちづくりがスタートしました。

自治会をはじめ、様々な団体により、住みよいまちづくりに向けた取り組みがなされ、平成26年度には5ヵ年計画「円山地区まちづくり計画」を策定し、30年度で終了しました。その間、多くの成果を収めたものや引き続き継続する必要がある事業もできました。

また、今後、一層複雑化、多様化していく地域の課題を解決し、住みよいまちづくりをするためには、それぞれの団体が自主的にまちづくりを進めながら、単独では解決できない課題については、今まで以上に連携を深め、「安全で安心して暮らせる」を実感し、愛着と誇りを持てるまちづくりを推進する必要があります。

これらのことから、前計画を評価するとともに、地区内の各種団体、住民の皆さんのアンケート調査などで提案いただいた課題や将来への思いなどを反映させ、地区が抱える課題の解消や活性化をめざして新たな「まちづくり計画」を策定しました。

この計画の具現化に向けては、各自治会や各種団体の皆さんとさらなる話し合いを続けながら積極的に活動していきたいと思えます。

2 まちづくりの計画について

(1) 計画の位置づけ

本計画は、今後の円山地区におけるまちづくり施策を推進するための指針となるものです。各自治会及び各種団体を始め、多くの住民の皆さんの共通認識が図られた計画として、地区まちづくり協議会が主体となって策定したものです。

円山地区がめざすまちづくりの方向性を地区で共有し、住民一人ひとりの主体的な参加と協力をいただきながら推進するものとします。

また、具体的な事業展開にあたっては、各自治会、地区内の各種団体等が緊密な連携を取り、適切な役割分担をしながら取り組んでいく必要があります。

(2) 計画の期間

令和元年度から令和5年度までの5年間とします。ただし、地区の状況の変化に応じて、随時見直しを行うこととします。

(3) 計画の進め方

まちづくりは、行政と住民、自治会、各種団体がそれぞれ連携し合って、協働して進めていくものです。以前は、ともすると行政中心のまちづくりが進められてきました。

今回作成したまちづくり計画は、地区の問題は地区で解決することを基本としています。道路の整備など地区で解決できない問題については、市に要望したり、関係機関と連携を進めていきます。

まちづくりをしていくには、住民と自治会及び各種団体が個々に取り組んでいくものと、相互に連携を図りながら取り組んでいくものがあります。課題解決のためにお互いにまちづくりへの意識の共有を図りながら、連携して課題解決をめざす必要があります。

円山地区では、以前から組織的に、より成熟したまちづくりが展開されてきました。今回の計画も自治会及び各種団体の具体的事業や住民の意見を集約して策定したものであり、計画の実現に向けて、自分たちで確実に行動し、次に引き継ぎ、継続性のあるものにしなければなりません。

また、この計画は5年にも及ぶものであり、本まちづくり計画を基本に、自治会や地区内の各種団体が具体的事業を実行し、単年度ごとに、その効果等をまちづくり協議会が把握し、**PDCA**サイクルにより進めていくことも必要かと思えます。

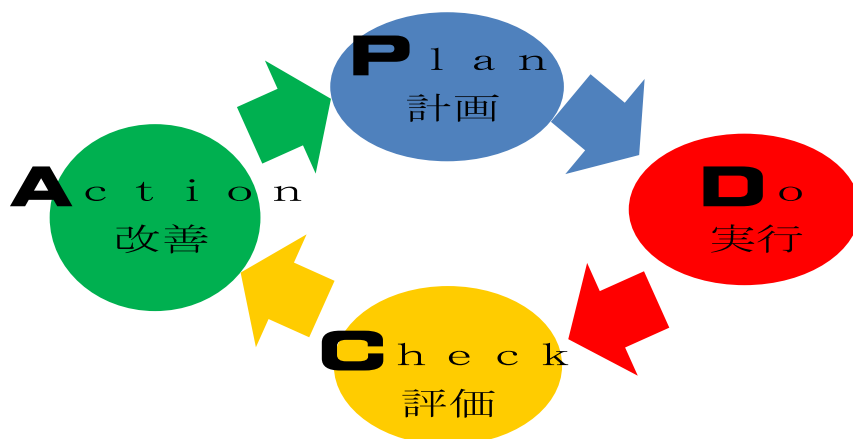
Plan（計画）・・・必要な事業の計画をします。

Do（実行）・・・計画したことを実行します。

Check（評価）・・・実行した結果、良かったか、悪かったかを判断します。

Act（改善）・・・判断をもとに、手直しまたは全体の見直しをします。

サイクルのイメージ図



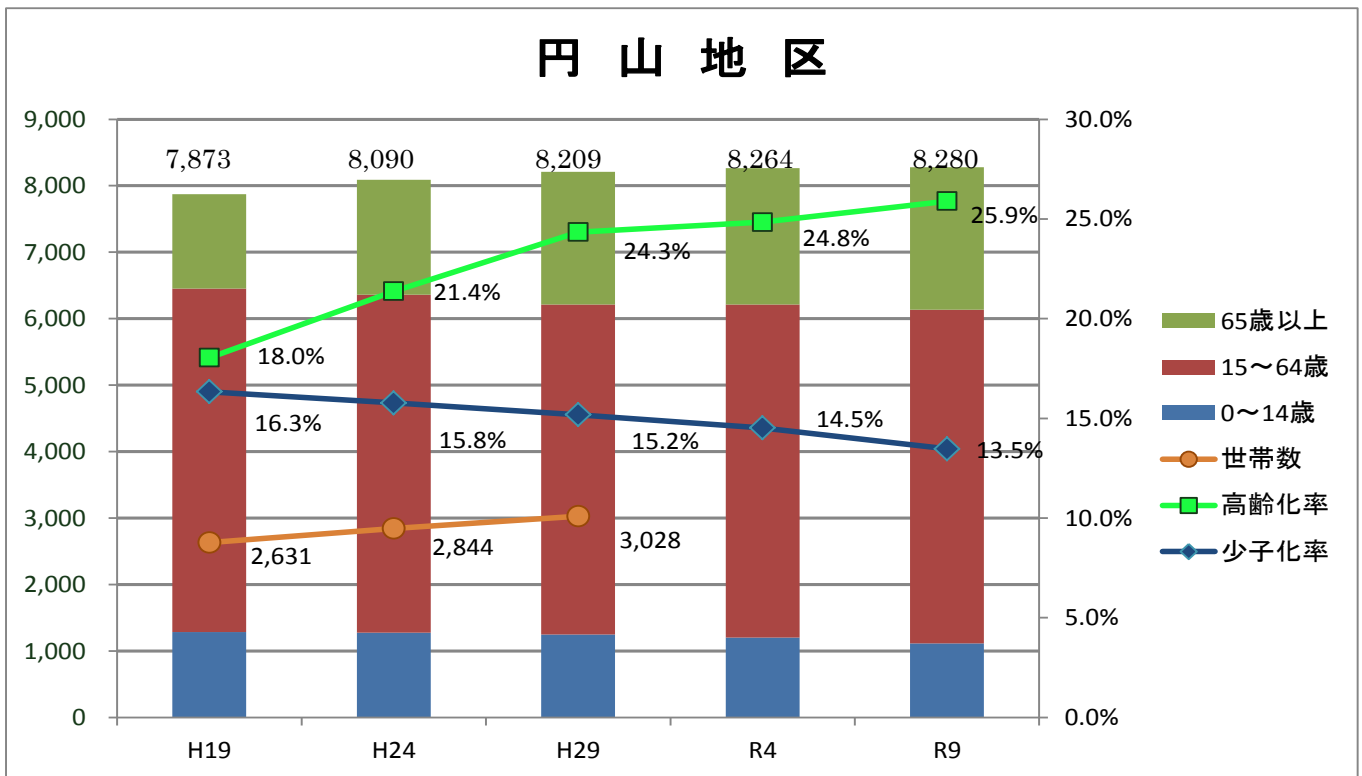
3 地区の現況

(1) 地区の概要

円山地区は福井市の東部に位置し、地区の西側には国道8号線、東側には北陸自動車道が走り、東西に県道吉野・福井線（通称さくら通り）が縦断し、交通の便が極めてよいところとなっています。地区の総面積は3.37平方キロメートル。

地区の西部は近年、市街化がすすんでいます。東部には今なお広い田園地帯が残されています。市街部と農村部及び豊かな自然がよく調和し、病院、商店も多く極めて便利で住環境はとても恵まれている地といえます。戸数は3,000を超え、人口も8,200余人を数えるまでになっています。（市の『わがまちトリセツ』より）

(2) 地区の人口・世帯数の推移



住民基本台帳による人口統計（H19～H29）及び推計（R4～R9） まち未来創造課より

■ 人口と世帯数

市全体の人口は、減少傾向にあるが、円山地区は僅かに増える傾向にある。世帯数は人口の増加にもまして増えることから、核家族化が進んでいく。

■ 高齢化率

市全体に比べ、4～5ポイント低いですが、高齢化は進んでいく。

■ 15歳以下の人口

市全体と同じ曲線を描きながら少子化が進んでいく。

(3) 地区の課題

① 災害や犯罪への対応

異常気象による平成16年の福井豪雨や平成23年の東日本大震災を契機に、災害への不安をもつ住民も増えています。また、普段の生活の中で交通安全や防犯への不安も増えています。

このことから、自然災害発生時に迅速かつ適確な情報の発信、防災意識の向上、減災力の充実を図る必要があります。また、交通事故や犯罪のない、子どもから高齢者まで安心して暮らせるまちをめざす必要があります。

② 少子高齢化への対応

福井市の統計によると、円山地区の人口は増加傾向にあるものの、少子高齢化や核家族化は進んでいく見込みです。一方、一人暮らし高齢者、高齢者世帯、核家族の増加によって、高齢者の生活不安や育児世代の子育てに関する悩みが増えているように思われます。

このことから、住み慣れた地区でいつまでも元気でいきいき暮らせる、高齢者に優しい支え合いのあるまち、子育てに最適な環境づくりを推進する必要があります。

③ 地域資源の活用と魅力づくり

円山地区には、河増遺跡（7世紀～8世紀の集落遺構）、河戸（船着き場）をはじめとする多くの旧跡があり、伝統行事も残っています。これら先人が培ってきた有形無形の貴重な財産に親しみ、共に学び、次世代に伝える活動を通じて、地区への愛着と誇りを持てるようにしていくことが求められています。

また、地区を活性化するには、様々なイベントを通じて、にぎわいをつくり出し、住民同士が交流を深めることが重要です。

さらには、生涯にわたり楽しく心豊かに過ごすために、健康づくりやライフステージに応じて、一人ひとりが学び続けることができる場づくりを進める必要があります。

④ 住環境の保全と美化

地球温暖化による環境への影響が深刻な状況にあることから、住民の一人ひとりができることをしっかりと考え、分別収集や資源ゴミ回収の徹底、リサイクル運動の推進などを世代を超えて取り組んでいくことが大切です。また、美しい快適な環境づくりのための取り組みを進めていく必要があります。

4 めざす将来像

(1) まちづくり計画の構成と内容

めざす将来像を実現するための理念、4つの基本目標と柱となる活動方針及び重点項目を体系的に示したものです。

理念（将来像）

夢と希望に満ちた円山

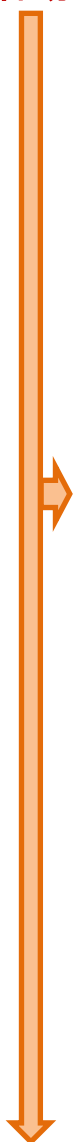


基本目標



| | |
|---|---------------------|
| 1 | みんなでつくる安全・安心のまち |
| 2 | みんながイキイキ暮らせるまち |
| 3 | みんなで学び成長するまち |
| 4 | みんなでつくる潤いと美しさの広がるまち |

活動方針と重点項目



- ① 犯罪や交通事故のない安全なまち
 - ・防犯活動の強化
 - ・交通安全啓発活動
 - ・挨拶、声かけ運動の推進
- ② 防災意識の向上と減災対策を実践するまち
 - ・地区防災計画の推進
 - ・防災知識の普及啓発
 - ・消防団活動の充実
 - ・情報共有とネットワークづくり
- ③ 目配りと気配りで子どもを見守るまち
 - ・見守り活動の充実
 - ・環境浄化活動
 - ・駆け込み所の拡充
 - ・不審者情報共有とネットワークづくり

- ④ 高齢者の生活を応援するあたたかさあふれるまち
 - ・健康づくり
 - ・生きがいづくり
 - ・交流の場づくり
 - ・支え合い助け合う環境づくり
- ⑤ 若者が住みたい 戻りたいと思えるまち
 - ・交流と活躍の場づくり
 - ・出会いの場づくり
- ⑥ 地区に愛着を持つ心を育むまち
 - ・子ども会育成会活動の推進
 - ・円山コミュニティスクールの充実
 - ・伝承活動の推進
 - ・地域ぐるみの子育て支援

- ⑦ にぎわいときずなを広め深めるまち
 - ・地区体育祭など、イベントの充実
 - ・交流事業の充実
 - ・人財ネットワークづくり
 - ・空き家・空き農地の利活用の調査研究
- ⑧ 健康で心豊かに暮らせるまち
 - ・文化振興活動の充実
 - ・文化的行事への参加推進
 - ・地域資源の活用
 - ・歴史・文化継承活動の充実
 - ・スポーツとレクリエーション活動の充実
- ⑨ 未来へつなぐまち
 - ・後継人材の発掘と育成
 - ・男女共同参画社会の形成
 - ・情報発信活動の充実

- ⑩ 住環境にやさしい快適なまち
 - ・環境美化活動の推進
 - ・リサイクルの推進
- ⑪ 住みよいこちよい美しいまち
 - ・花いっぱい運動の推進
 - ・花壇の整備
 - ・公園の管理

具体的事業

(2) まちづくりの理念（まちの将来像）

夢と希望に満ちた円山

「まちづくり」とは、地区が抱える様々な課題を住民一人ひとりが自ら考え、協力し合っ
て解決していく活動の過程をいいます。「まちづくりの理念」とは、円山地区のまちづくり
の進路を示した羅針盤であり、まちづくりの指針となるものです。

この理念には、次のような、私たち一人ひとりの思いが込められています。

- 円山地区で暮らし、活動する住民、自治会、各種団体が世代や団体の枠を超えて
つながり、互いに助け合って、自然災害や犯罪に強いまちをつくっていききたい。ま
た、子どもから高齢者まで、支え合いのある安心な円山をつくっていききたい。
- 先人から脈々と受け継いできた文化・歴史や伝統を私たちが共に知り、学び、守
り、次世代を担う子どもたちへ継いでいききたい。
- 心身ともに充実した生活を営むために、健康でスポーツやレクリエーション活動
を楽しみたい。
- 円山地区には、緑や農地などの貴重な自然があります。私たちの暮らしに潤いを
もたらす自然を大切に守り育てたい。
- 若者の発想を生かした地区づくりを通して、地区への愛着や誇りを育みたい。高
齢者から若い世代へ知識や経験を伝える活動を通して、まちづくりの担い手を育て
たい。また、様々な交流の場があり、みんながつながり、一人ひとりが力を発揮し、
地区をにぎわいあるものにしたい。
- 女性の活躍する場をつくりたい。

(3) まちづくりの基本目標

まちの将来像「夢と希望に満ちた円山」を実現するために、次の4つを基本目標としました。

● 基本目標

- 1 みんなでつくる安全・安心のまち
- 2 みんながイキイキ暮らせるまち
- 3 みんなで学び成長するまち
- 4 みんなでつくる潤いと美しさの広がるまち

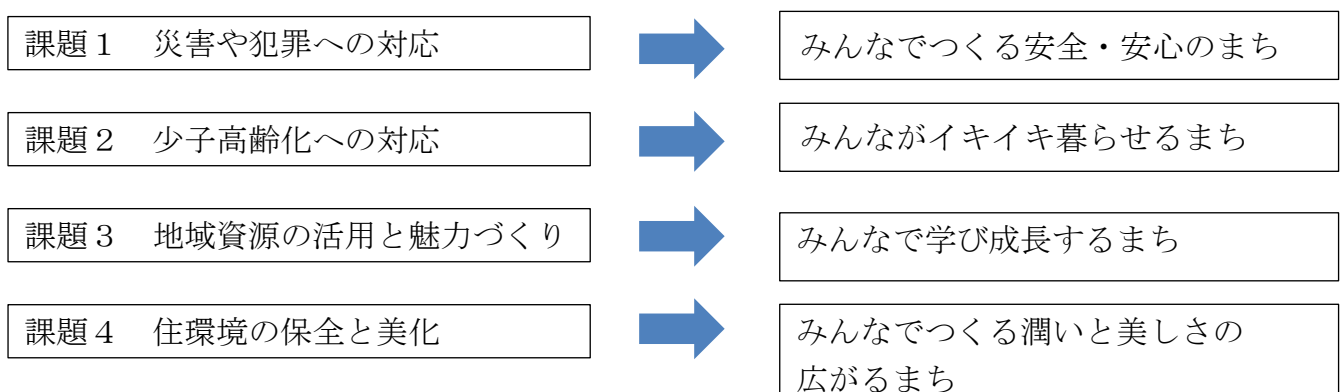
基本目標1 「みんなでつくる安全・安心のまち」は、交通安全・防犯、防災、子どもの見守りなど、住民の暮らしの基盤となる安全・安心の観点でとらえた目標です。

基本目標2 「みんながイキイキ暮らせるまち」は地区を構成する子どもから高齢者までの暮らしの観点でとらえた目標です。

基本目標3 「みんなで学び成長するまち」は、きずな、地域資源、人財育成など、暮らしを彩る観点でとらえた目標です。

基本目標4 「みんなでつくる潤いと美しさの広がるまち」は、美しい住環境の保全の観点でとらえた目標です。

● 課題と基本目標の関係



(4) 活動方針と重点項目

まちの将来像を着実に実現するために、基本目標に11の活動方針を設定しました。さらに重点項目を定めました。

基本目標1 みんなでつくる安全・安心のまち

活動方針1-1 犯罪や交通事故のないまち

住民や地区が連携した活動を行い、犯罪の防止に努めるとともに交通安全意識を高め、事故防止に努めます。

(重点項目)

- 防犯活動の強化
- 交通安全啓発活動
- 挨拶、声かけ運動の推進

活動方針1-2 防災意識の向上と減災対策を実践するまち

災害時には、住民一人ひとりの防災知識の習得や適切な行動を取ることが不可欠です。訓練を定期的に行い、知識や減災対策の習得を図ります。

(重点項目)

- 地区防災計画の推進
- 防災知識の普及・啓発
- 消防団活動の充実
- 情報の共有とネットワークづくり

活動方針1-3 目配りと気配りで子どもを見守るまち

次世代を担う子どもたちは、地区の宝です。みんなで見守る、そんなまちをめざします。

(重点項目)

- 見守り活動の充実
- 環境浄化活動
- 駆け込み所の拡充
- 不審者情報の共有とネットワークづくり



基本目標2 みんながイキイキ暮らせるまち

活動方針2-1 高齢者の生活を応援するあたたかさあふれるまち

高齢者が住民同士の見守りや支え合いによって、健康で生きがいを持って元気に暮らせるまちづくりを進めます。また、自らの健康は自ら守りつくるという心構えが大切なことから、健康づくりの機運を高める活動を推進します。

(重点項目)

- 健康づくり
- 生きがいづくり
- 交流の場づくり
- 支え合い助け合う環境づくり

活動方針2-2 若者が住みたい 戻りたいと思えるまち

活気に満ち、若者が住み続けたいという思いをもてる魅力あるまちづくりを進めます。

(重点項目)

- 交流と活躍の場づくり
- 出会いの場づくり

活動方針2-3 地区に愛着を持つ心を育むまち

地区の魅力再認識し、次世代の子どもたちへ伝えていきます。また、世代間交流を通して、地区に愛着を持てるように努めます。

(重点項目)

- 子ども会育成活動の推進
- 円山コミュニティスクールの充実
- 伝承活動の充実
- 地域ぐるみの子育て支援



基本目標3 みんなで学び成長するまち

活動方針3-1 にぎわいときずなを広め深めるまち

イベントに、積極的に参加してもらえる環境づくりをめざし、ともに行動し互いに協力しながらつながることが実感できるまちづくりをめざします。

(重点項目)

- 地区体育祭など、イベントの充実
- 交流事業の充実
- 人財ネットワークづくり
- 空き家・空き農地などの利活用の調査研究

活動方針3-2 健康でこころ豊かに暮らせるまち

長年受け継がれてきた歴史や文化に親しみ、学び、後世に引き継ぐとともに、一人ひとりが芸術・文化、スポーツを身近に親しむことができる機会と場づくりに努めます。

(重点項目)

- 文化振興活動の推進
- 文化的行事への参加推進
- 地域資源の活用
- 歴史・文化継承活動の充実
- スポーツ・レクリエーション活動の充実

活動方針3-3 未来へつなぐまち

地域づくりは人づくりからであり、男女を問わず役割を分担し合って共に考え、共に行動する心身ともに健やかで心豊かな人づくりに努めます。

(重点項目)

- 後継人財の発掘と育成
- 男女共同参画社会の形成
- 情報発信活動の充実



基本目標4 みんなでつくる潤いと美しさの広がるまち

活動方針4-1 住環境にやさしい快適なまち

リサイクル、資源ゴミの回収の徹底など一人ひとりができることをしっかり考え、住環境の保全と資源・エネルギー消費抑制など環境にやさしい取り組みを進めます。

(重点項目)

- 環境美化活動の推進
- リサイクルの推進

活動方針4-2 住みよい心地よい美しいまち

花いっぱい運動の輪を地区全体に広げていきます。花いっぱい運動の推進によって、自分の周りや公園の美化につなげていきます。

(重点項目)

- 花いっぱい運動の推進
- 花壇の整備
- 公園の管理



5 まちづくり協議会の役割

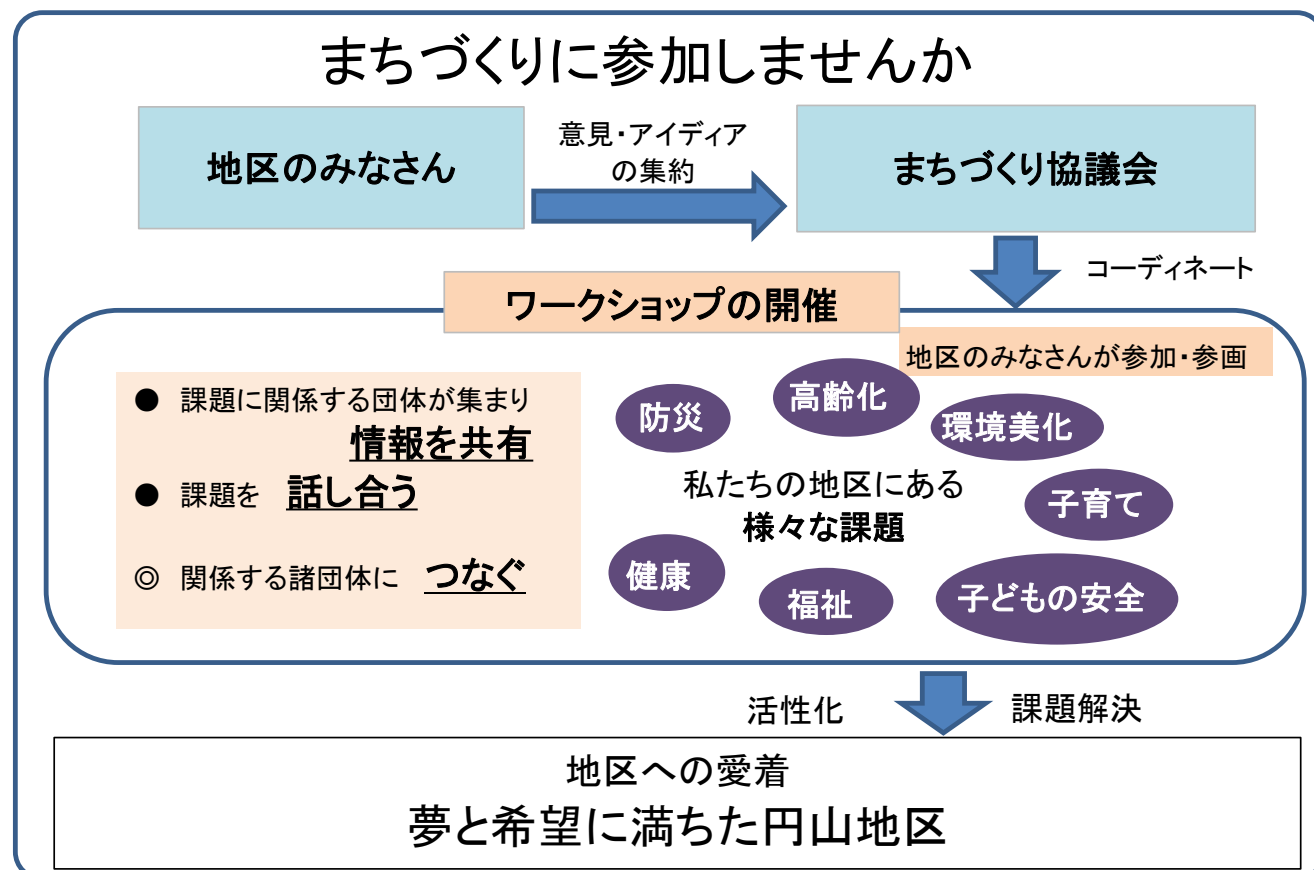
少子高齢化や核家族化が進み、人と人のつながりが希薄化し、高齢者等の孤立化といった問題が浮き彫りになっています。また、社会環境の変化に伴い、住民のニーズがますます多様化しているなか、自治会や地区内の各種団体等では、その内容が増えても担い手は増えないという課題を抱えているのが現状です。そこで各種団体などの活動内容を共有し、地区の地域力を見極め、より効率的に事業を実施する発想や手法を検討する必要があります。

各団体が防災、防犯、福祉などの分野の枠を超えて、目標に向けて連携、協力し、事業の効果的な運営方法を話し合う場がまちづくり協議会という組織です。つまり、まちづくりの推進母体です。

主な役割は、

- 1 各種団体間などの相互連携のための橋渡し・連絡調整
- 2 地域の魅力発信事業など新たなまちづくり活動の検討
- 3 まちづくりに関わる活動支援
- 4 まちづくりに関する情報の受信発信

「まちづくり協議会」があることによって、自治会連合会や地区内の各種団体の役割が変わるものでなく、連携を図ることが可能となります。



6 まちづくりの推進に向けて

まちづくりは、みんなの心を通わせ、みんなの気持ちをつなぐ活動が土台となります。そのためには、まず、計画の内容を住民全体に広く知ってもらい、全員で「夢と希望に満ちた円山」の実現に向けたまちづくりを推進していくことが重要です。

そこで、以下のような取り組みを進めていきます。

- 1 計画を自治会や地区内の各種団体で共有するだけでなく、住民一人ひとりに知らせるために、広報誌「えんざん」、ホームページなどへの掲載や自治会、各種団体への説明会を実施します。
- 2 自治会や地区内の各種団体等が相互に情報交換し、今まで以上のつながりをつくっていくため、リーフレット、広報誌「えんざん」、ホームページを活用し、情報を発信します。
- 3 自治会や地区内の各種団体等が実施している事業については、今後も継続して活動が行われるよう支援を行います。また、新しい事業については、関係団体が連携のもと、住民の誰もがまちづくり参画できる仕組みづくりをします。

7 結びに

「まちづくりの羅針盤」には、「夢と希望に満ちた円山」になればいいなあという思い託してあります。

住民のみなさん、自治会、各種団体と連携しながら、夢と希望を持って暮らせる魅力ある地域づくりを進めたいと考えております。

地域づくりを進めるのは住民の皆さん一人ひとりです。「はばたく円山 一人ひとりが主人公」。まず一歩踏み出してみませんか。まちづくり活動に、一人でも多くの参加を願っています

代表者委員会

河合正博（社協）・高木宣一（自治会）・小笠原敬治（社教）・近藤達雄（体振）
俵谷智美（育成会）三屋範夫（防災）・笠松公輔・吉村和也（市地域担当職員）
葭原徹男・堀江猪三雄（まちづくり）・松井章江（公民館）



円山地区活動事業団体の全体図 2019

はばたく円山 一人ひとりが 主人公！！

社会活動
団体

地区
住民

公民館
事業

- 自治会連合会 = 16自治会長
- 社会教育会
- 体育振興会
- 子ども会育成会
- 社会福祉協議会
- 自主防災連絡協議会
- 円山地区アマ無線倶楽部
- 文化振興会
- 青少年育成市民会議円山支部
- 市民憲章円山支部
- 防犯隊円山支隊
- 消防団円山分団
- 交通安全協会円山分会・円山地区交通安全推進協議会

- ### 円山公民館
- 地域コミュニティの中核的活動拠点
コーディネーター的役割
- 教育事業
 - 家庭教育事業
 - 少年教育事業
 - 青年教育事業
 - 福井学事業
 - 地域課題解決事業
 - 市民憲章運動の推進
 - 不死鳥のねがい推進協議会の支部としての実践活動の実施
 - 自主グループ
 - 地域活動支援

- ### 円山地区まちづくり協議会
- 連絡調整(相互連携・協力)
 - 活動支援
 - 地域の魅力発信事業の推進

- 洋裁・日本舞踊・ヨガ・子ども吟舞・民踊
- 尺八・料理・和紙ちぎり絵・コーラス
- 男の健康体操・スマホ・パソコン・生花
- 銭太鼓・ヘルシーダンス・フレッシュ体操
- よさこい・パッチワーク・太極拳・詩吟・吟舞
- 空手・カラオケ・コカリナ・囲碁・和太鼓